

# 四日市市 公共施設マネジメント白書



四日市市

## はじめに

本市では、高度経済成長期の急激な人口増加や社会環境の変化、市民ニーズの多様化等に應える形で、多くの公共施設の整備を行ってきました。

その結果、多くの公共施設は建築後すでに相当の年数が経過し、老朽化が進んでおり、それに伴う更新費用の増大が見込まれます。また、社会情勢や市民ニーズの変化により、用途・利用形態の見直し、スペースの有効活用等の視点が求められています。

こうしたことから、平成 23 年度にスタートした「四日市市総合計画（2011 年度～2020 年度）」の基本的政策「市民と行政とで築く安全なまちづくり」の中で、公共施設の計画的な整備や修繕による維持管理経費の低減や長寿命化を図るストックマネジメントに取り組み、市民や事業者のニーズにあった用途に改変するなど、弾力的な対応を行うことを重点的な施策として位置づけています。

また、平成 23 年度から 25 年度を計画期間とする行財政改革プラン 2011 においても「公共施設のストックマネジメント計画の策定」を改革項目に掲げ取り組みを進めているところです。

本白書では、本市が保有している公共施設を重要な資産の一つとして捉え、ストックマネジメント計画策定の基礎データとなるよう、コスト情報とストック情報の両面から現状の把握・整理を行いました。

こうしたストックマネジメントの取り組みは、効率的・効果的な行政サービスの提供や健全な行財政運営につながるものであり、本白書で分析した施設情報のほか、今後作成する「長期保全計画」や公共施設の見直しの考え方についても、市民の皆さんにご説明し、ご理解とご協力をいただきたいと思いますと考えています。

四日市市長 田中 俊行

# 四日市市公共施設マネジメント白書 報告書

## 目次

### 第1章 四日市市の概況

1. 市の概況.....	1
2. 市の沿革.....	2
3. 市政の現状.....	3
4. 市域の特性.....	4
5. 市の人口.....	6

### 第2章 市の保有する施設の状況及び資産の有効活用の必要性

1. 財政状況.....	21
2. 保有する財産の状況.....	25
3. 保有する施設の築年別整備状況.....	26
4. 行政運営から行政経営へ.....	28

### 第3章 用途別実態把握

1. コスト情報とストック情報の的確な把握.....	29
2. 建物評価 評価軸 .....	30
3. 四日市市公共施設配置状況 地域実態マップ .....	32
4. 主な施設の実態把握	
<市民文化系施設>	
(1) 地区市民センター施設 (23施設) .....	37
(2) 公民館機能 (24施設) .....	45
(3) 行政施設 (窓口機能) (25施設) .....	63
(4) 文化会館・あさけプラザ .....	77
(5) 総合会館・本町プラザ・なやプラザ .....	99
(6) 人権プラザ及びその他施設.....	119
(7) 楠防災会館・楠避難会館 .....	125
(8) すわ公園交流館.....	129
(9) 勤労者・市民交流センター.....	133
(10) 国際共生サロン.....	137
(11) 洒翠庵.....	141

<社会教育系施設>	
(12) 図書館（3施設） .....	145
(13) 博物館・楠歴史民俗資料館 .....	161
(14) 環境学習センター .....	169
<スポーツ・レクリエーション系施設>	
(15) スポーツ施設（32施設） .....	171
(16) 少年自然の家・宮妻峽ヒュッテ .....	187
<産業系施設>	
(17) 茶業振興センター .....	193
(18) ふれあい牧場 .....	197
<学校教育系施設>	
(19) 小学校・中学校 .....	201
<子育て支援施設>	
(20) 幼稚園・保育園 .....	223
(21) 子育て支援センター .....	247
(22) 児童館 .....	251
(23) 病児保育室 .....	255
<保健・福祉施設>	
(24) 福祉施設 .....	259
中央老人福祉センター、西老人福祉センター、 障害者福祉センター、障害者体育センター、共栄作業所、 あさけワークス、たんぽぽ、母子福祉センター、あけぼの学園、 楠保健福祉センター	
(25) 健康増進センター .....	273
(26) 楠福祉会館・楠ふれあいセンター .....	279
<医療施設>	
(27) 市立四日市病院 .....	287
(28) 歯科医療センター .....	289
<その他>	
(29) 北大谷斎場霊園 .....	293
(30) 市営駐車場 .....	297

#### 第4章 今後の公共施設の方向性

1. 資産の有効活用の必要性及び判断の視点 .....	301
2. 建物のライフサイクルを通じた有効活用 .....	303
3. 今後のストックマネジメント事業の進め方 .....	304
4. 用語集 .....	305

## 資料の取り扱いについて

### 【本白書対象施設の定義】

本白書では、市が保有または借用している建物や土地に、特定の目的を持って設置しているものを「施設」と呼んでいます。一つの建物に複数の施設を併設している場合や、建物のない施設もあります。なお、本白書では、それらの施設のうち、普通財産を除く、主に市民がよく利用し行政サービスを行っている施設を対象としています。

図 本白書対象施設イメージ



- ◇各用途の中で代表的な施設を対象としています。
- ◇多くの地方自治体が保有する一般的な施設（図書館、公民館等）、延床面積の大きな施設を中心に対象の選定を行っています。
- ◇指定管理者制度の導入の有無を問わず、図の区分に従って対象を選定しています。

### 【端数処理】

掲載している数値及び金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計とは一致しない場合があります。また、「約」を付けずに表記している場合があります。

### 【年の表記】

昭和から平成にまたがるような長期間の比較が可能なように西暦を使用しています。一部必要に応じて元号と西暦を併記しています。

### 【人口】

掲載している人口は、特に記載のない限り、住民基本台帳の各年4月1日現在の数値を掲載しています。

### 【データの出所】

作成に用いたデータは、特に記載のない限り、「四日市市 市政概要(平成 21 年版)」  
「指定管理者モニタリングレポート(平成 21 年度)」及び各施設の所管課から提供  
を受けた資料をもとにしています。

### 【決算額と同じにはならないこと】

本白書で用いている「トータルコスト」とは、光熱水費や修繕費など施設の維持や  
管理に要する経費だけでなく、その施設が設置目的にしたがって存在し、運営して  
いくうえで必要な経費の総額を表したものです。したがって、管理運営等に携わる  
正職員の人件費を平均単価で計算していることや、減価償却費を加算していること  
などから、各施設の事業費の決算額とは異なります。

### 【減価償却費の考え方】

建物の取得に要した金額を各年度分の必要経費として配分するため、建物の新築価  
格を所得税法別表に基づき減価償却し、施設の使用や経年による建物等の価値減少  
分をコストとみなしています。

### 【基準日等】

本白書では、特に記載のない限り、人口は平成 22 年 10 月 1 日を、金額は平成 21  
年度決算値を、施設利用者数等は平成 21 年度数値を基準としています。その後の  
組織機構の変更により、コスト状況等が異なる場合があります。

### 【施設稼働率の算出】

本白書では、特に記載のない限り、施設稼働率は利用コマ数を利用可能コマ数で除  
して算出しています。利用可能コマ数は、施設もしくは部屋ごとの 1 日当たりの貸  
出コマ数に年間運営日数を乗じています。特定施設及び設備の保守などにより、実  
際の貸出コマ数とは異なる場合があります。